

交通流改善に向けた走行支援に関する実証実験

■ 実証実験の概要

交通流の改善による CO₂排出量低減および安全性向上を目的として、交通流改善に資する走行支援システムの研究開発を行います。本実証実験では、走行車の運転行動を計測し、ドライバーが交通の流れに沿った走行を選択しやすくする支援方法について評価を行うことで、交通流の円滑化や CO₂排出量低減に貢献するシステムの開発を目指します。

■ 実証エリア

静岡県内の一般道及び高速道路、愛知県・神奈川県的高速道路（東名高速道路、新東名高速道路）

■ 取得するデータ

車両に設置したドライブレコーダー（車載カメラ）より画像データを取得します。

■ データを取得する期間

2026 年 10 月～2028 年 3 月

※研究の進捗状況等により延長となる可能性があります。

■ 利用目的

交通流改善に向けた走行支援の評価・分析および研究開発に利用するため

■ 第三者提供

当社は、本実証実験において取得するデータを、以下の場合に限り第三者に提供することがあります。

- ・ 個人が特定できない形に加工した上で、学会発表などの場で外部への成果報告を実施する場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などからの強制力を伴う法的な要請に基づく場合

■ データを保管する期間

取得後 3 年間

※取得した画像データのうち、今後の開発に必要となる一部のデータに限って、上記の保管期間を超えて保管・利用することがありますが、不要になった場合すみやかに削除いたします。

■ 個人情報保護・プライバシー尊重への取り組み

本取り組みで当社が取得する画像データには、歩道や道路脇を歩く人や、前方や隣接する車線を走行する車両のナンバーなどが映り込む可能性があります。当社はこの画像データを、個人情報として、個人情報保護法その他の関連する法律を順守して取り扱います。また、映り込んだ方のプライバシーを尊重するための取り組みを行っています。

当社は、映り込んだ方の個人情報保護・プライバシーの尊重のために、以下の対応をしています。

- 画像データの取り扱いに関する情報の適時適切な公表（本お知らせ）
- 画像データに対するアクセス制限やアクセスログの管理
- 画像データに映り込む人や車両のナンバーを個別に検索できない形式での保管
- 画像データに映り込んだ人や車両について個別に追跡したり、その行動特性や移動傾向などを分析したりすることの禁止

当社の取り組みについて、映り込む可能性のある皆様にご理解いただけるよう、これからも十分な説明や対応に努めてまいります。

（初版：2026 年 10 月 14 日）